

研究課題番号	2RF-2003
研究課題名	地球温暖化予測のための時空間シームレスな降雨・降雪スキームの開発
研究実施期間	令和2年度～令和3年度
研究機関名	岡山大学
研究代表者名	道端 拓朗

1. 委員の指摘及び提言概要

時空間的に不均一性の降雨・降雪に対し、時空間を埋めたシームレスな降雨降雪スキームを開発するという挑戦的な課題であり、MIROC 気候モデルの雲・降水変換過程に A-Train 人工衛星群による雲とエアロゾルの鉛直構造データと整合する改善法を開発したことは顕著な貢献である。それを通していくつかの国際共同研究への貢献も果たすことができた。このような尖った研究成果は我が国の国際競争力を上げる。査読付き論文、その他誌上発表、口頭発表など精力的に研究成果を発表している点も高く評価される。他方、将来の政策への反映についてはまだ検討すべき点もあり、将来予測における課題などを整理し、更なる研究進展を期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A